

令和3年度 学校評価（あきた型）シート
「秋田西高等学校」

①

評価領域	特別活動部
------	-------

目標の設定（Plan）

②

重点目標	学校における集団活動を通して秋田西高校生としての自覚を持ち社会の一員として自立ができるような能力を養う。
------	--

③

現 状	昨年度はコロナの関係で活動が制限されていたため、行事の様々な伝統やノウハウが途絶えてしまった。
-----	---

④

具体的な目標	新しい時代にふさわしい行事の土台をつくる。
--------	-----------------------

⑤

目標達成のための方策	生徒会執行部、各委員会を中心とした西高祭などの行事の企画立案。
------------	---------------------------------

実践（Do）

⑥

具体的な取組状況	西高祭のクラス発表やスポーツ大会の実況等をリモートで行う。
----------	-------------------------------

⑦

達成状況	西高祭や様々な行事を教室で参加できるようになった。
------	---------------------------

自己評価（Check）

評価基準	A：具体的な活動が示され目標を達成できた。 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

⑧

自己評価	評価	根 拠
	A	西高祭で行ったリモートのノウハウを他の行事で生かすことができた。また、他の分掌との連携によりリモートによる集会が定着した。コロナ後も熱中症対策等で役に立つと思う。

⑨

学校関係者評価と意見	評価	意 見
	A	コロナ禍での行事の開催は評価できる。リモートを活用してでも多くの経験をしてもらいたい。西高祭や運動会など保護者の参観ができないのであればライブ配信などしてほしい。

改善した実践（Action）

⑩

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	行事を中止するのではなく、できることを工夫しての活動が評価されたと思う。西高祭や運動会をライブ配信でも参観したい保護者の思いを肝に銘じてこれからも前向きに行事に取り組んでいきたい。
-----------------------	--